

住みたいまち大刀洗 住んでよかった大刀洗町



今号の主な内容

- 赤い羽根共同募金運動が始まります
- ミニデイボランティア研修会報告
- 育てあう ふくし
- 楽しい！面白い！くたびれた！思いやり卓球
- いきいきシニアライフ



笑顔、見つけました。

7月26日 菅野ミニデイ・大堰保育園児との交流会

「♪いっほんば〜し、こーちよこちよ…」、両手をくすぐられて、思わず絶叫☆
ふれあうって楽しいね！

赤い羽根共同募金運動
が始まります。
ご協力をお願いします。



■ 社会福祉法人 大刀洗町社会福祉協議会

〒830-1201 大刀洗町大字富多819
TEL/0942-77-4877 Fax/0942-77-6220

■ 大堰保育園

〒830-1205
大刀洗町大字守部465-5
TEL/0942-77-1402

■ 本郷保育園

〒830-1211
大刀洗町大字本郷899-1
TEL/0942-77-2220

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>



この社協だよりは、共同募金の配分金より発行しています。

赤い羽根共同募金運動が始まります

運動期間 10月1日～12月31日

共同募金は、通称「赤い羽根募金」とも呼ばれ、全国一斉に行われる募金運動です。地域の福祉活動などに役立てるための民間の募金で、その地域の実情に合わせて柔軟に活用できるという特徴があります。また、大規模災害の備えとして募金額の一部が積立てられ、昨今発生している災害時の活動資金として活用されています。

今年も10月1日より募金運動が始まりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

募金の方法

- **戸別募金（1世帯700円）**
区長さん等の協力を得て、世帯別に募金をお願いしています。
- **事業所募金**
町内の企業・事業所の皆様に募金をお願いしています。
- **募金箱設置**
小中学校や金融機関等に募金箱の設置をお願いしています。
- **赤い羽根自販機**
購入した飲料代の一部が寄付されるしくみになっています。
- **イベント募金**
ドリームまつりで共同募金ブースを出店し、売り上げの全額を募金としています。
- **その他**
団体の活動としての募金や個人としての募金も受け付けています。



募金の活用（昨年お寄せいただいた募金の配分結果）

- **高齢者福祉活動費（480,000円）**
老人クラブ支援、男性の料理教室活動支援 等
- **障がい児・者福祉活動費（110,000円）**
身障協会支援、家族会支援、声の広報事業支援
- **児童・青少年福祉活動費（750,000円）**
福祉協力校事業、保育園福祉推進費 等
- **住民福祉活動費（2,150,800円）**
ミニデイサービス事業、社協だより配布 等

赤い羽根データベース「はねっと」
よりご確認くださいませ。



福岡県共同募金会大刀洗町支会（大刀洗町社会福祉協議会）

大刀洗町大字富多 819 ぬくもりの館大刀洗内
TEL：0942-77-4877 FAX：0942-77-6220

共同募金運動の始まりは、「お互いさま」の気持ちから

共同募金運動は、第二次世界大戦後、1947年（昭和22年）に「国民たすけあい運動」として全国ではじまりました。

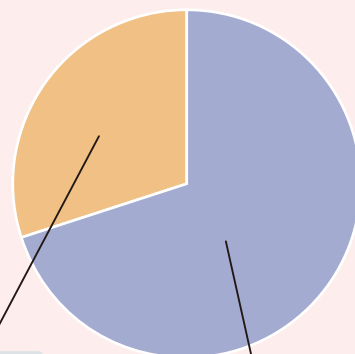
“困ったときはお互いさま”の気持ちから、第1回の共同募金運動では、およそ6億円の寄付金が寄せられました。現在の貨幣価値にすると、1,200億円相当になると言われています。



赤い羽根共同募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」です。

赤い羽根共同募金は、町に暮らすすべての人たちが助け合って、自分らしく生活を送ることができるように取り組まれている活動に配分されています。

集められた募金は、その約7割が私たちの町の助け合い活動に、残りの約3割が都道府県内で、市町村を超えた広域での活動や災害時の備えとして使われています。



市町村を超えた広域での活動や災害時の備え
約3割

じぶんの町
約7割

災害が起きたときに備えて ～災害等準備金について～

共同募金会では、災害発生後、すぐに災害支援を行えるように、毎年、募金実績額の3%を「災害等準備金」として積み立てています。

災害等準備金は

- ① “災害ボランティアセンター”の運営支援
- ② 被災された方への支援活動を行うボランティアグループやNPOなどへの活動支援に使われます。

また、被災県の災害等準備金が不足した場合は、他の都道府県共同募金会が保有する準備金を拠出することができ、災害時における助けあいの取組みにもつながっています。



じぶんの住む町が好き、だから、ずっと住み続けたい町。
そんな気持ちを、ささえるしくみが赤い羽根



スマホからも、
募金できます！



今年も赤い羽根共同募金にご理解・ご協力をお願いいたします。



令和6年度ミニデイボランティア研修会 報告

7月31日(水) 14:00~
ドリームセンター ドリームホール

ミニデイサービス(以下ミニデイ)の役員・ボランティアを対象に200名の方にご参加いただきました。今回の研修会では「ミニデイの意義・目的について」あらためて考えるとともに、それぞれの区の「ミニデイの良さ」や「これからのミニデイ」についてグループワークを行いました。

〇ミニデイの良さって何だろう？

ミニデイは、地域の皆さまのご理解とご協力のもと、高齢者等が気軽に集まれる交流の場・仲間づくりの場として行政区ごとに自主的に運営されています。

参加される皆さんは、「外に出るきっかけ」や「健康づくりや認知症予防」などミニデイを楽しみながらの健康づくりとして参加されているようですが、一番の良さは、人と人とが、そして地域がつながることができるというところだと考えます。ミニデイだけでなく普段の生活でも「お元気ですか?」「最近どうしていますか?」とお互いに気にかけてあうことが自然に行われることもミニデイの魅力ではないでしょうか。

Q:ミニデイをやっていて良かったことは?

Q:「こうなったらいいな」と思うミニデイは?

会員さんからの感謝の言葉がうれしかった

ボランティア自身も楽しんで活動している

コーヒーを飲みながらのカフェのようなミニデイがあつたらいいな

子どもとの交流をしたい



今後のミニデイの形についてさまざまな意見が出され、実現のためにはどうすればよいか検討される区もありました。

担当者より

研修会後も多くの区でミニデイのこれからのについて話し合われていました。社協としても、今後も地域の皆さんと一緒に、気負いしすぎず誰でも続けられるようなミニデイの形を見つけていければと思っております。

育てあう ふうし

園と地域のつながりについて
取材してきました！

大堰保育園

7月26日に菅野ミニデイと交流をしました。コロナ禍で交流できなかった期間がありましたが、園と地域の関わりは途絶えずに見守っていただいています。時には「収穫しに畑においで～」と声をかけていただくこともあります。ミニデイでは、子どもたちを盛り上げていただき、素敵な時間を過ごすことができました。おかげで大堰っ子はおばあちゃん、おじいちゃんが大好きで、自然体でのびのびと過ごすことができたり、自分から挨拶できたりする子が多いです。その他にも、地域のお祭りで歌を歌ったりダンスをしたりすると、自然と小学生も参加して地域みんなで楽しむことができるのが大堰の魅力です。(表紙の写真も見てネ)

わっしょい！
わっしょい!!



ピザを作って
園に招待

本郷保育園

7月31日に本郷神社の夏祭りに参加しました。この関わりは、以前から長く続いている園と地域とのつながりです。今年は特に、お宮の関係者の皆さまが熱中症対策として手づくりのミストを設置してくださいました。地域が子どもたちのために考え、園児・保護者・地域とが一緒に楽しんで過ごすことができました。また花植えなど、日頃から地域の方には子どもたちに関わっていただいています。



暑いけど、
がんばるぞ～！



一緒に花植えをしています

「楽しい！面白い！くたびれた！」

思いやり卓球 報告



中学生も参加！



8月23日(金) ふれあいセンターにて、思いやり卓球 4 回目を開催しました。今回は、中学校の卓球部の部員がボランティアとして協力されました。

参加者からは、「ひ孫と卓球した感じで楽しかった～ !!」との声がありました。また中学生からは「普段、勝負ごとの卓球しかしないのでおばあちゃんたちと続ける卓球が楽しかった！」との声がありました。

思いやり卓球は、相手が敵ではなく味方です。相手が返しやすく思いやりをもって球を返し、ラリーを続けることを目的としています。

次回予告

日程：9/27(金) 13:30～

場所：ふれあいセンター

申し込み：9/25(水)まで (先着15名まで)

参加費：無料

※ラケットとボールはご準備します。動きやすい服、室内履き、水分をご持参ください。



西本郷 太田 幸二さん

いきいきシニアライフ

地域で、はつらつと過ごしてある方にお話を伺いました。

結婚して大刀洗町に来ました。シニアクラブ(当時の老人クラブ)に入った当時は58歳。まだ仕事をしていました。

誘われて、誘われ続けて、気がつけば…。

定年後、グラウンド・ゴルフに誘われ、そのうち「上高橋の柳道場に入らないか？」と誘われ、2～3年すると「パソコンができるならグラウンド・ゴルフ部の事務局をしてくれないか」という話になり、気が付けば10年ほどグラウンド・ゴルフの事務局として運営に関わっています。

楽しかったし、雰囲気良かった。仲間が増えました。

私の健康づくり！

グラウンド・ゴルフでは、週に3、4回夢中でプレーしています。楽しいし、とてもいい運動になっています。スコア計算は、頭の体操です。

若い頃にしていたボウリングも、60歳を過ぎて再開しました。週に1回、マイボウルを持って通っています。

「シニアライフ、こうなったらいいな」はありますか？

何も考えていない(笑)。いろいろ考えたって一緒やけんね。

「ちょっと付き合わんね」
気がつけば人とのつながりが続いて、
広がっています。



春日 牟田 延喜さん

シニアクラブ連合会では11月に「笑って健康」健康漫談や、グラウンド・ゴルフ交流大会、交通安全講習会を計画しています。ちょっと試しに来てみませんか？会員さんも募集しています。詳細はお問合せください。

<事務局：大刀洗町社会福祉協議会 77-4877>

総合福祉相談窓口 せいかつ☆ふくし相談窓口

大刀洗町社会福祉協議会 TEL：0942-77-4877

困りごとに対しての相談窓口の紹介や解決に向けた支援をお手伝いします。



〒830-1201 大刀洗町大字富多819 (ぬくもりの館大刀洗)